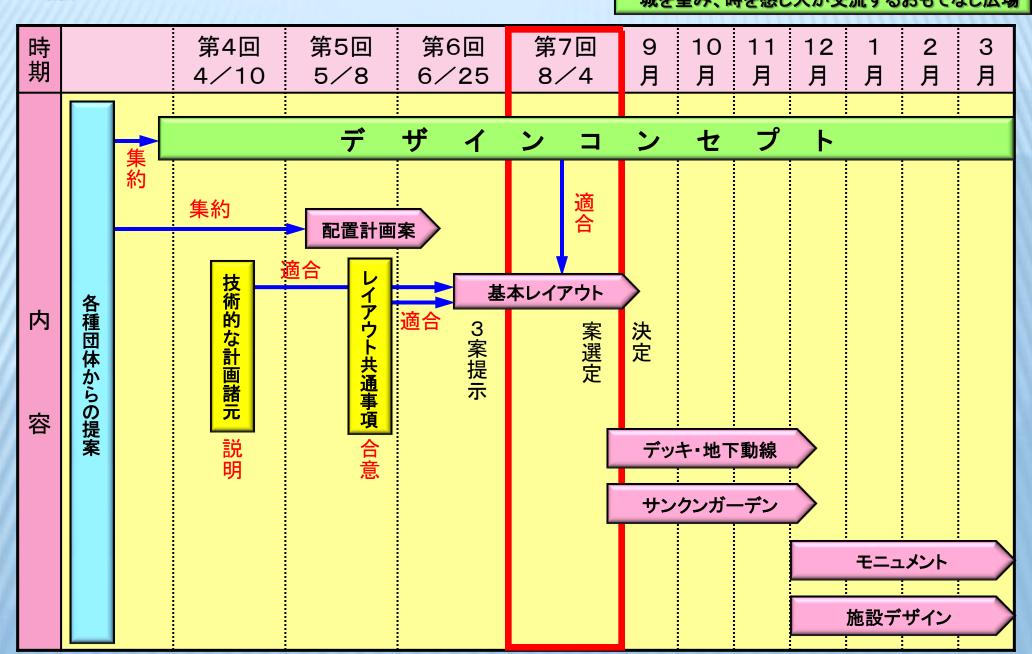
姫路駅北駅前広場の基本レイアウトの選定について

平成21年8月4日

第1章 前回会議までの確認

会議のスケジュール

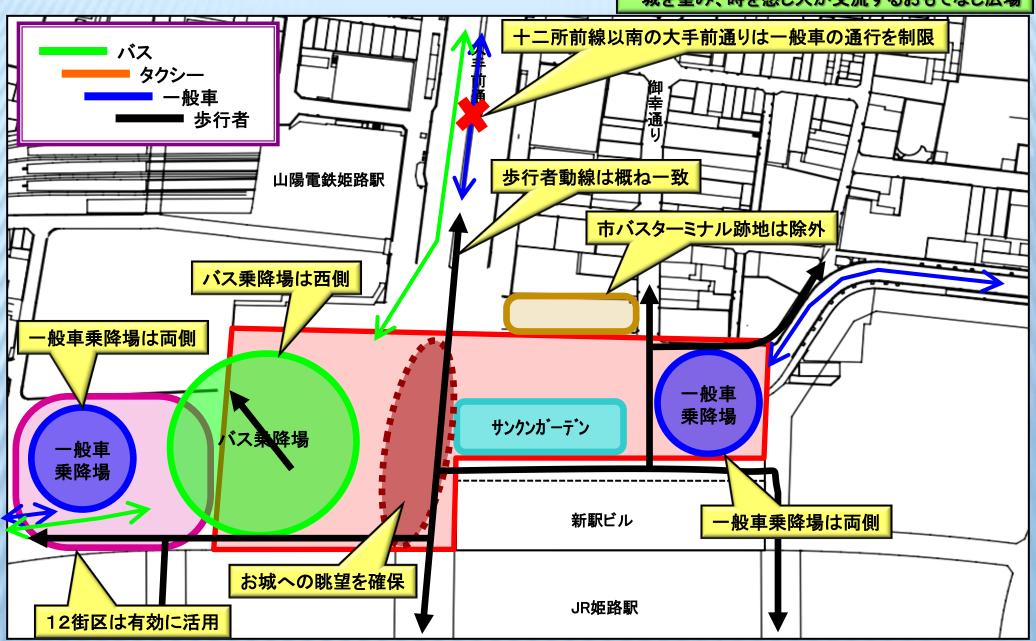
基本コンセプト: 城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



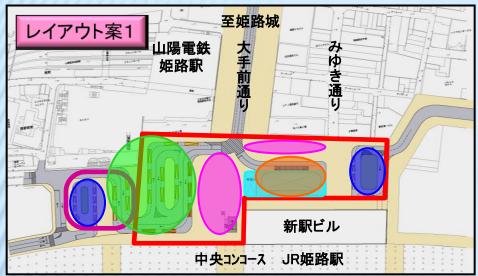
レイアウト検討のための共通事項

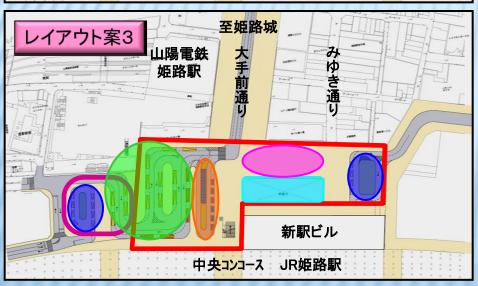
基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



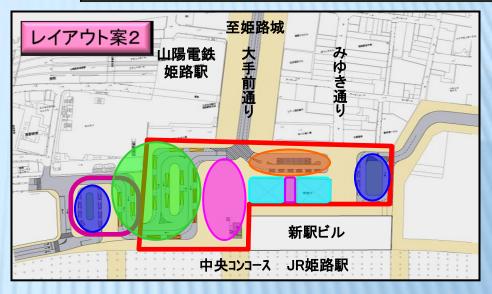
レイアウト3案





基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



	レイアウト案1	レイアウト案2	レイアウト案3
一般車	東 側・西 側	東 側・西 側	東 側・西 側
タクシー	サンクンカ・ーテ・ン上部	サンクンカ゛ーテ゛ン北側	西側
パス	西側	西側	西側
広 場	中央コンコース前 サンクンカ・ーテ・ン北側	中央コンコース前	サンクンカ・ーテ・ン北側

	一般車	タクシー	バス
	広 場	サンクンカ・ーテ・ン	

◆駅前広場北東上空から西方向





基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

画像は、施設のレイアウトを決めるために、イメージしやすいように作成したものです。





◆キャスパ南上空から東方向





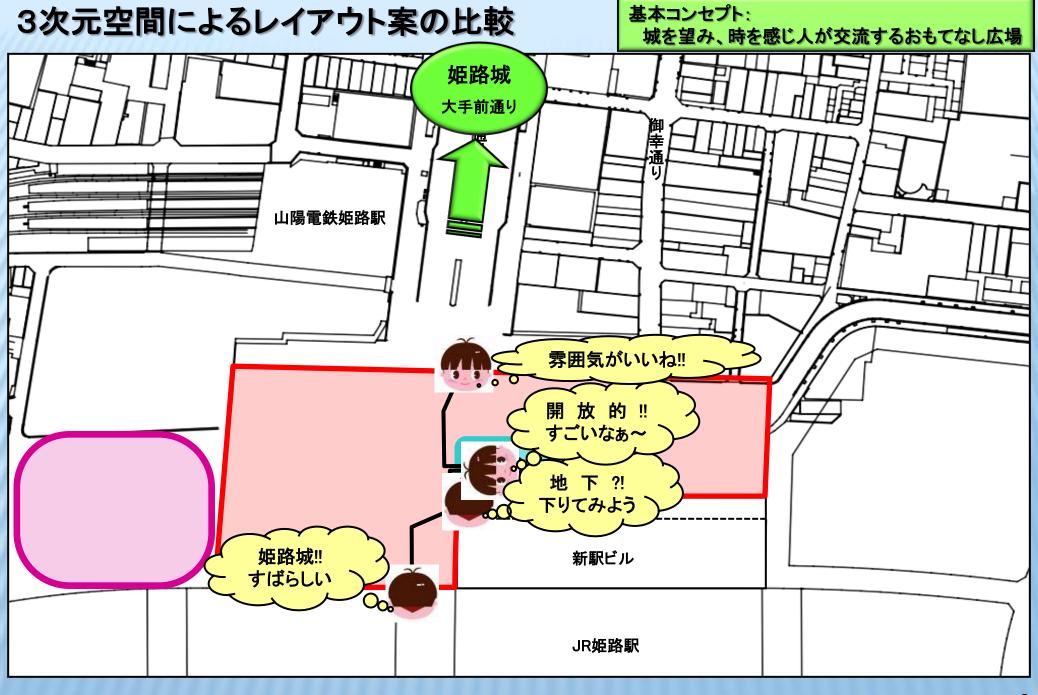
基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

画像は、施設のレイアウトを決めるために、イメージしやすいように作成したものです。





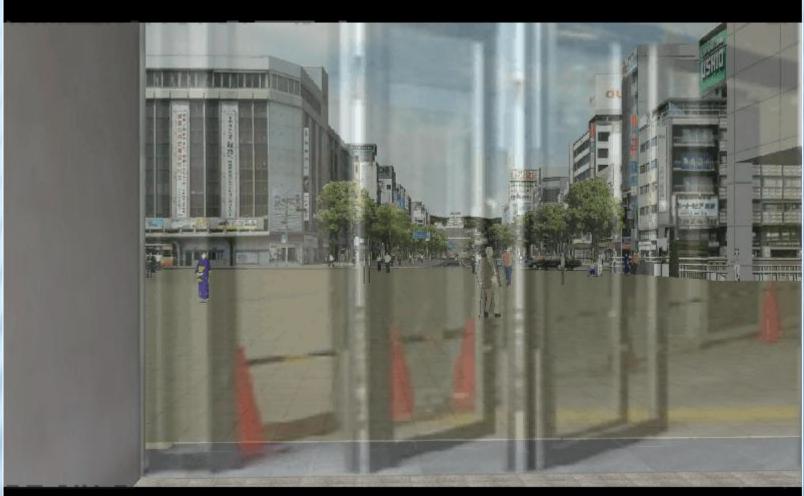


基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

レイアウト案1







基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

レイアウト案2







基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

レイアウト案3





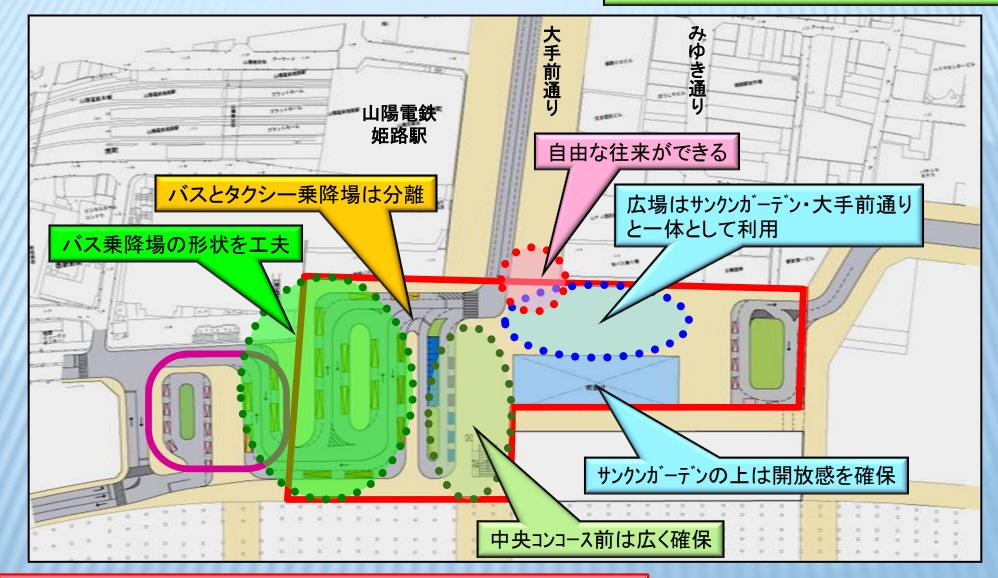


第2章 前回会議での意見

前回会議の主な意見~レイアウト案3~

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



第3章

バス・タクシー・一般車乗降場の前提条件

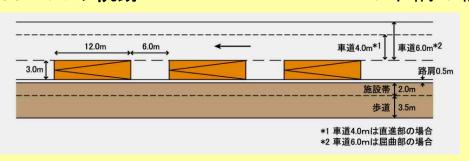
技術的な諸元

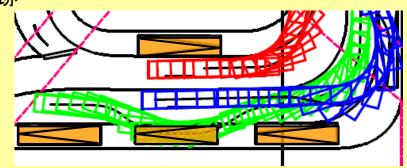
基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

バス乗降場

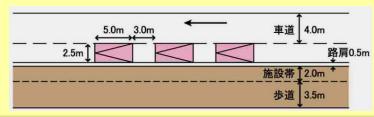
- ★バスバース数·・・・乗 車:13バース、降 車:5バース
- ★バスバースの大きさ・・・12m×3m ★バスバースの間隔・・・6m
- **★バスの軌跡・・・10.9m×2.5m**の車輌の軌跡

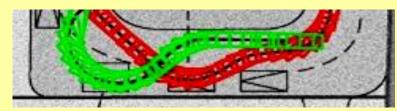


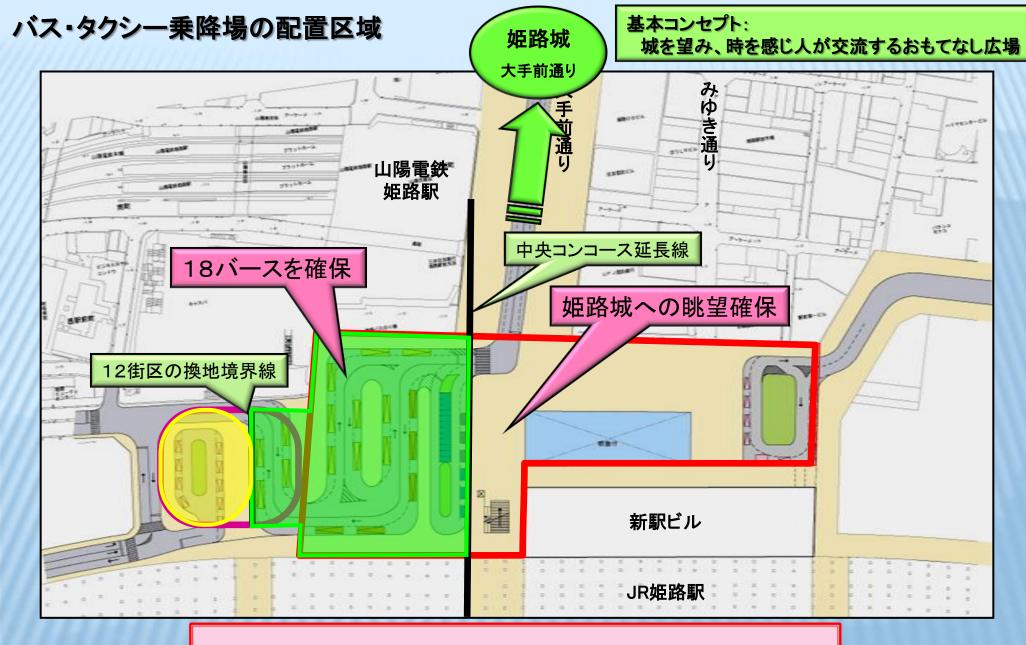


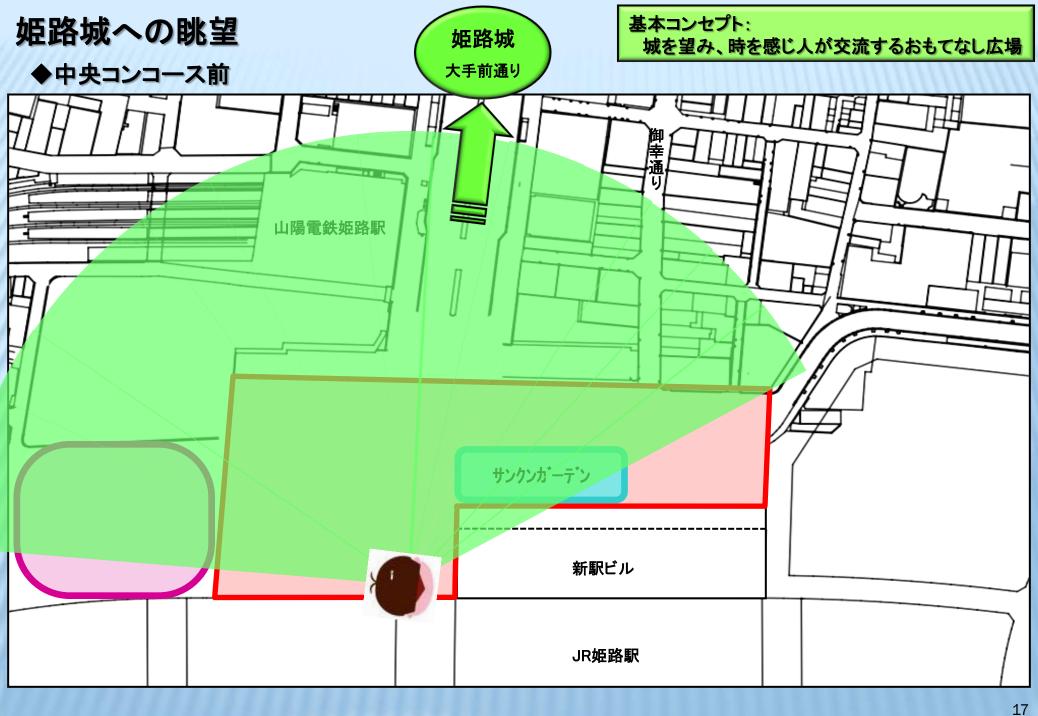
タクシー乗降場・ 一般車乗降場

- ★タクシーバース数···乗 車:3バース、降 車:3バース
- ★一般車バース数·・・東 側:10バース、西 側:10バース
- ★タクシー・一般車バースの大きさ・・・5m×2.5m
- ★タクシー・一般車バースの間隔・・・3m
- ★タクシー・一般車の軌跡···4. 7m×1. 7mの車輌の軌跡









姫路城への眺望

◆中央コンコース前

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

画像は、施設のレイアウトを決めるために、イメージしやすいように作成したものです。





姫路城への眺望

◆在来線ホームから大手前通り方向



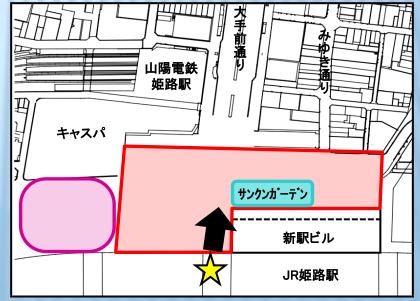


基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

画像は、施設のレイアウトを決めるために、イメージしやすいように作成したものです。





第4章 レイアウト案の修正

レイアウト案1 (修正)

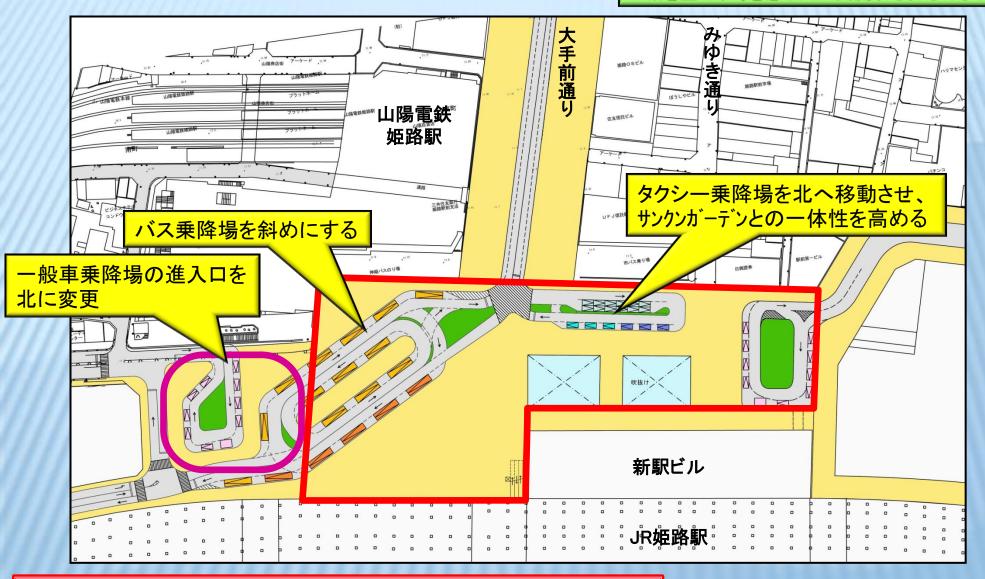
基本コンセプト:



レイアウト案2 (修正)

基本コンセプト:

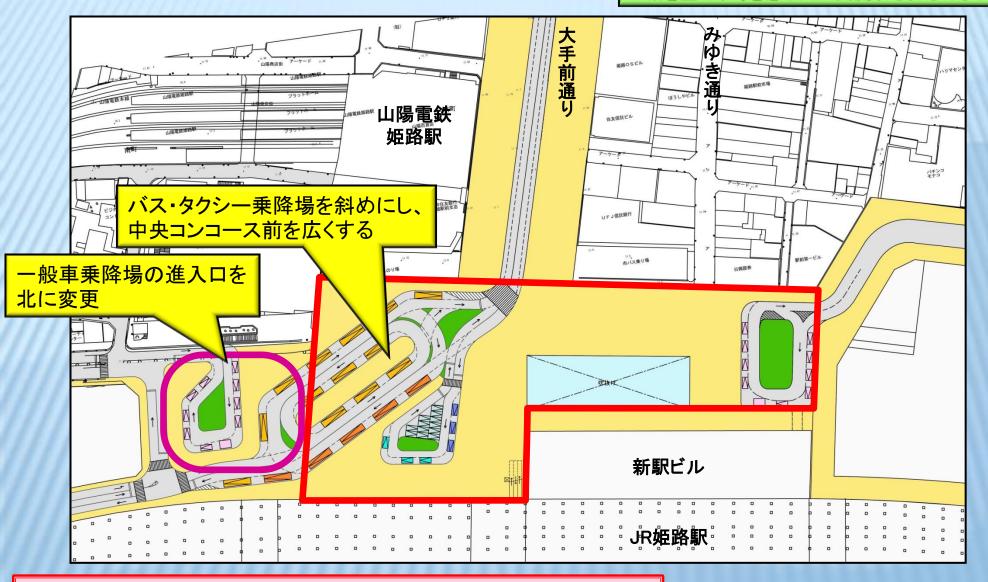
城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



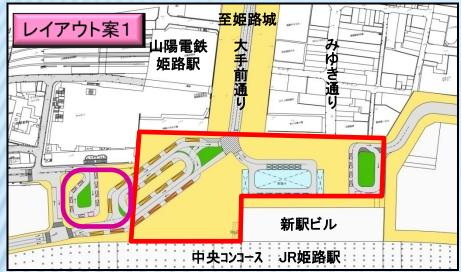
レイアウト案3 (修正)

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



レイアウト案(修正)





基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



	修 正 点
共 通	・バスの形状を斜めに変更 ・一般車乗降場の進入口を北に変更
レイアウト案1	サンクンガーデン東側にも開口部を確保
レイアウト案2	サンクンガーデン北に空間を確保
レイアウト案3	中央コンコース前を広く確保

第5章 基本レイアウトの選択

姫路駅北駅前広場デザインコンセプト

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

基本コンセプト

~ 輝き続ける城下町姫路の新たな顔 ~ 「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」

「先進性」と「和」が融合したデザインを基調として、 白鷺城の「美しさ」と「風格」が感じられ、 来街者を「やさしくもてなす」デザイン

空間デザインの考え方

シンボル景観と 姫路らしい空間の演出

<u>空間デザインの考え方</u> くつろぎ・にぎわい 空間の創出

施設デザインの考え方

城を感じる 優美な現代和風

空間デザインの考え方

便利で安全な 歩行者空間の確保

第3回姫路駅北駅前広場整備推進会議

専門家ワークショップからの提言

7月19日(日)イーグレ姫路1階アトリウムにて開催

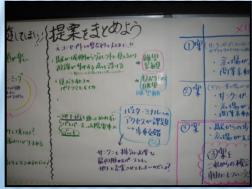












基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

JR姫路駅北駅前広場整備に関する提言

「姫路駅北駅前広場整備推進会議」で合意された「姫路駅北駅前広場デザインコンセプト」を明確に空間化し、世界に冠たる駅前広場を創造すべきである。

[景観]

- 1 オープンスペースについては、防災機能や賑わいを持たせるため、細かく分散させるより大きく集約することが好ましい。中央コンコース前のおもてなし広場は、世界遺産の姫路城と対峙する質の高いデザインが求められる。
- 2 多くの人々が出入りする中央コンコースの前には広い広場が必要であり、姫路城への眺望に加え、東西各エリアへの視認性を確保する必要がある。JR駅ビルの北西側のコーナーは眺望を阻害しないデザインが求められる。
- 3 JR姫路駅の出入り口近辺に、二層の高さで姫路城を眺望できる視点場があることが好ましい。デッキのデザインは下から見た景観に配慮すべきである。
- 4 姫路城側から見た駅前景観も重要である。モニュメントのありかたやJR駅ビルの表情のデザインを注意深く考える必要がある。
- 5 大手前通りから姫路城を望む中央の軸を確保するため、東西地域のバランスを考えながら、 公共交通の軸を中心からはずす計画の検討もすべきである。

[交通]

- 6 駅前広場のレイアウトで最も重要な点は、長期的視点から考え、大手前通りと駅前広場の 交通機能の将来的な拡張性を担保することである。
- 7 バスやタクシーのロータリーは、利用者の安心安全を考え、可能な限りシンプルにするべきである。現在提案されているバスロータリーのシステムには交通計画上の課題があるため、今後、詳細な検討が必要とされる。
- 8 大手前通りのトランジットモールの考え方は我が国でも先駆的な試みとなる。関係者の合意を得ながら、ぜひ実現してもらいたい。

[安全な移動経路]

9 JR姫路駅から、誰もが安全に、地下街への移動、山陽電鉄やバスへの乗換えができることが重要である。JR姫路駅の構内から連続性を持たせ、徹底的にパリアフリーの整備を進める必要がある。

[エリアマネジメント]

10 広場の活用および運営・管理には、市民や商業者の協力が必須である。公民が協力し、強力なエリアマネジメント体制を構築する必要がある。

以上の検討により、③案を軸に計画を進めることを推薦する。

JR姫路駅北駅前広場整備 公開専門家ワークショップ 専門家グループ

小浪博英 (帝京平成大学) 小林正美 (明治大学)

中井検裕 (東京工業大学) 出口 敦 (九州大学)

松本 滋 (兵庫県立大学) 森本章倫 (宇都宮大学)

(子都呂太子)(アイウエオ順)

専門家ワークショップからの提言

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

「姫路駅北駅前広場デザインコンセプト」を明確に空間化し、世界に冠たる駅前広場を創造すべき

景 観

- ●オープンスペースは、防災機能や賑わいを持たせるため、集約することが好ましい。
- ●中央コンコース前は、姫路城への眺望・東西各エリアへの視認性を確保するため、広い広場が必要である。
- ●デッキのデザインは下から見た景観に配慮すべき。
- ●姫路城側から見た駅前景観も重要である。
- ●大手前通りから姫路城を望む中央軸を確保するため、公共交通の軸を中心から外す計画も検討すべき。

交 通

- ●長期的視点から、大手前通りと駅前広場の交通機能の将来的な拡張性を担保すべき。
- ●バスとタクシーのロータリーは、利用者の安心安全を考え、可能な限りシンプルにすべき。
- ●大手前通りのトランジットモールは、我が国でも先駆的であり、ぜひ実現してもらいたい。

安全な移動経路

●誰もが安全に、地下街への移動・乗換えができるように、バリアフリーの整備を進める必要がある。

エリアマネジメント

●広場の活用および運営・管理には、市民や商業者の協力が必須であり、公民が協力し、強力なエリアマネジメン ト体制を構築する必要がある。

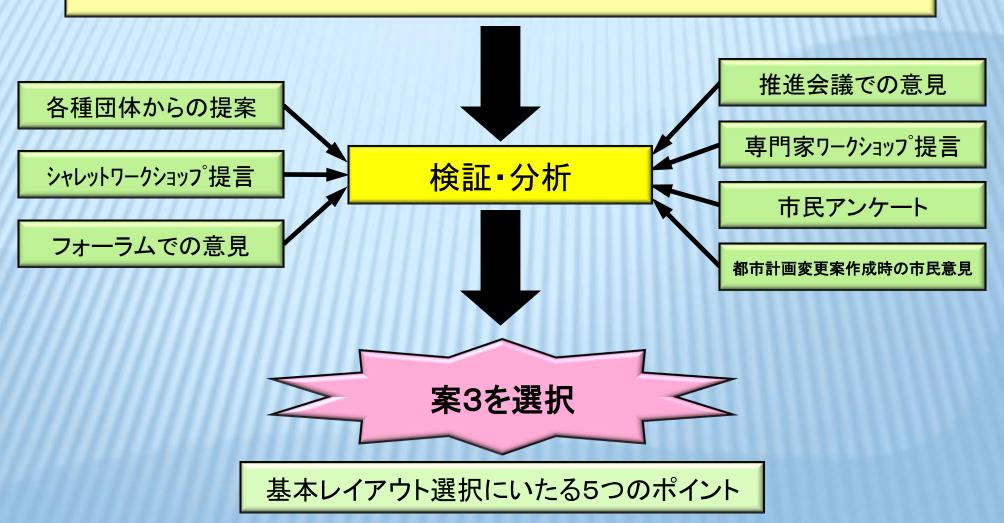
レイアウト案検討のプロセス

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

デザインコンセプトの実現

基本コンセプトである「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」を実現

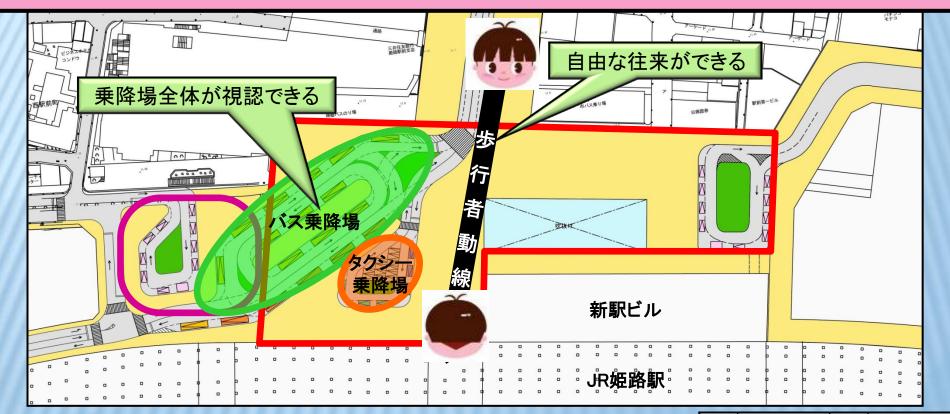


基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

1. (便利で安全)

中央コンコース前からバス・タクシーの乗降場全体が視認でき、城へ向う人の動線に交通交錯が無いことから、交通結節点として分かり易く、利用者にとって便利で安全である。



バス	サンクンカーデン
タクシー	広 場
一般車	

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

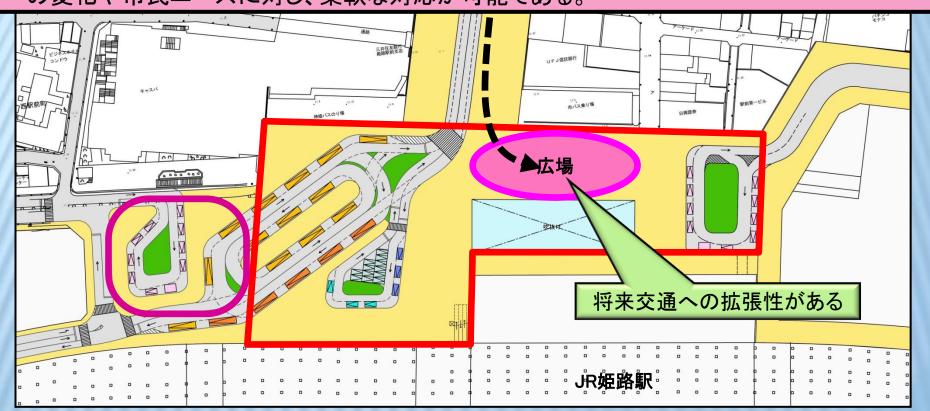
本の址 建性)

741

100 7-7-F 118 114

2. (将来の拡張性)

大手前通りから連続するまとまった空間が確保されていることから、観光ベロタクシー、人力車やBRT、LRTなど新たな交通機能の導入空間として拡張可能であり、将来の交通手段の変化や市民ニーズに対し、柔軟な対応が可能である。



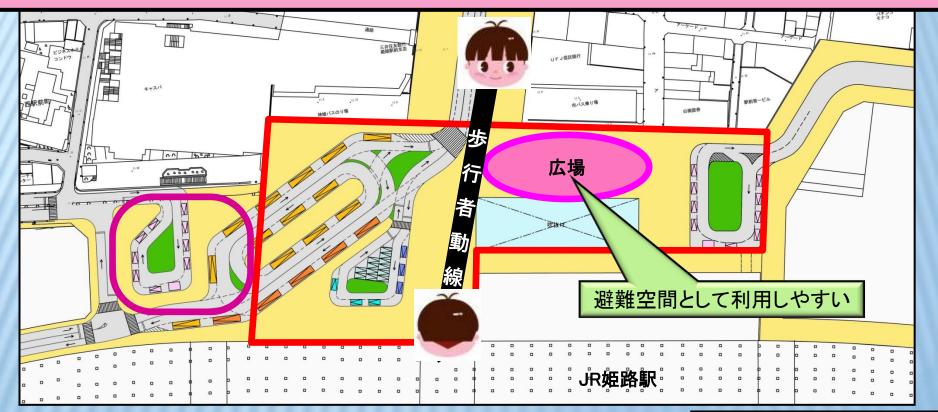
パス	サンクンカーデン
タクシー	広 場
一般車	

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

3. (都市防災)

都市防災の面からも、都心の大きなオープンスペースとして、歩行者動線と輻輳することのない、まとまった緊急活動空間としての利用が可能である。



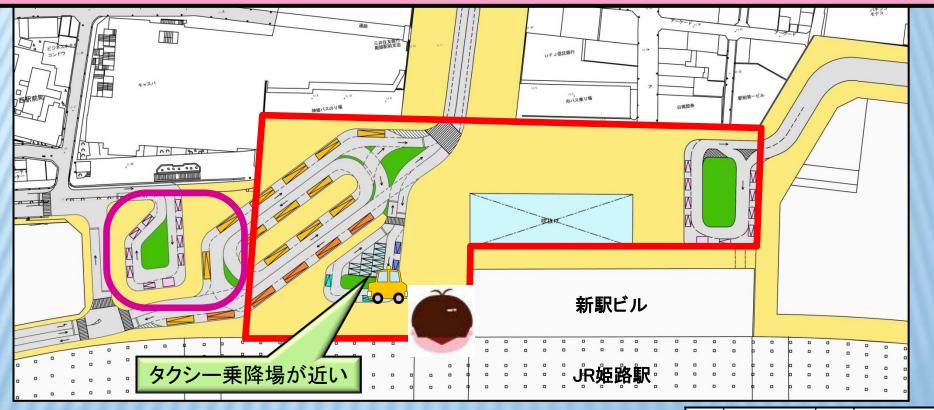
バス	サンクンカ・ーテ・ン
タクシー	広 場
一般車	

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

4. (交通弱者への配慮)

タクシー乗降場が中央コンコースから近いなど、高齢者や障害者などの交通弱者を優先し た施設配置である。



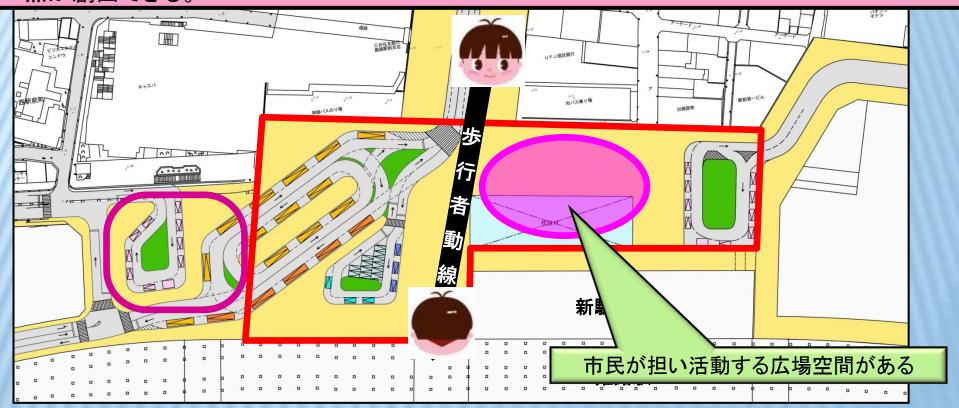
	バス	サンクンカ・ーテ・ン
	タクシー	広 場
	一般車	

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

5. (参画と協働)

歩行者動線に分断されないサンクンガーデンと一体となった空間が確保されており、市民が担い交流する参画と協働のステージとして、中心市街地活性化やまちづくり活動の新たな拠点が創出できる。



	バス	サンクンカ・ーテ・ン
	タクシー	広 場
	一般車	

基本レイアウトの選択

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

5つのポイント

1. (便利で安全)

中央コンコース前からバス・タクシーの乗降場全体が視認でき、城へ向う人の動線に交通交錯が無いことから、交通結節点として分かり易く、利用者にとって便利で安全である。

2. (将来の拡張性)

大手前通りから連続するまとまった空間が確保されていることから、観光ベロタクシー、人力車やBRT、LRTなど新たな交通機能の導入空間として拡張可能であり、将来の交通手段の変化や市民ニーズに対し、柔軟な対応が可能である。

3. (都市防災)

都市防災の面からも、都心の大きなオープンスペースとして、歩行者動線と輻輳することのない、まとまった緊急活動空間としての利用が可能である。

4. (交通弱者への配慮)

タクシー乗降場が中央コンコースから近いなど、高齢者や障害者などの交通弱者を優先した施設配置である。

5. (参画と協働)

歩行者動線に分断されないサンクンガーデンと一体となった空間が確保されており、市民が担い交流する参画と協働のステージとして、中心市街地活性化やまちづくり活動の新たな拠点が創出できる。

参考:イメージ動画(レイアウト案3)

基本コンセプト:

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場



